広報伊方町

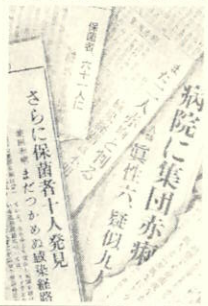
発行人 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 伊方町総務課
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通第五一番

恐しい私たちの手

秋の伝染病シーズンに備え 手洗いを励行しましょう

ことしの行ったあとの手洗いは必らず、そして完全にしてください。便所の手洗いは、手洗鉢にしてはいませんか、手洗鉢では、いくら洗っても病ん菌ど効きめがありません。

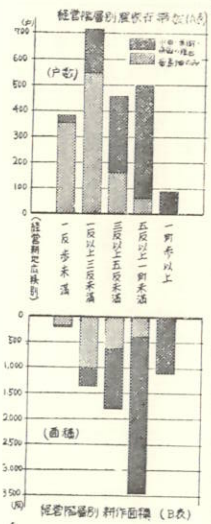
手のバイキンは油断して九割位は落ちまはいけません。ところが、同じ水道でも普通みられるコックが上についているものは洗うまえによごれた手でコックをのに気をつけることはるのでまた手がよごれます。コツもちろんですが、食事る。手洗い専用のじゃぐちを備えや、たべもよごし、洗ってからコックをしめ場をはじめ、衛生には充分気を配ってあります。保健所、市役病院一体となって感染経路をさぐりましたが仲々判りませんでした。最後に五月十二日の夕食にだ去る五月の中下旬頃、八幡浜の市立病院で十八人の患者と六十七人の保菌者をだした、赤痢の集団発生のことをおぼえていますか、なにしろ病院のことですから、炊さんされた、わけぎといかで作った「ぬた」に目が向けられました。



「ぬた」を作るには、みなさん知っているように、わけぎもいかも、最初はゆでますが、いったんさましてからは、全然火をとおしません。炊事に従事した人が便所にいって手を洗ってから、便所のとびらか柱かどこかにさわって、また手がよごれていたのではなかったのだろうか、そして手がよごれていることに気付かないで、冷えたわけぎを手で水の中からとりだして切ったのでは、ないだろうか。これが、最後につきとめられた感染経路だったのです。

なんと、私たちの手は恐ろしいものではありませんか。

目で見る伊方町の姿 ④



今月のグラフは、農業委員会の資料によって、経営耕地の広狭別土地利用から見た農家経営の型態別に農家世帯数と耕地面積をあらわしたものです。

農業経営のかたちを土地利用の面からだけで検討することは適当ではありませんが、この方法ですと数字が比較的かんたんに求められるので、これを用いました。即ちここで複式経営といっているのは、普通畑だけなく水田、果樹園、町の標準といわれる農家を考え桑園のいづれかをもてみましょう。A表のグラフで農業をさし、単式経営とは、普通畑だけの中には、厳密な意味で農家と云えないものが多く含まれていま伊方町には三反以下の農家が相当たくさんあります。三反以下の農家は、農地法でも認められていませんし、よほど高度な経営をしない限り、専業では、成りたたないはずです。

単式経営が三反以下に多くみられることからして、これらの階層の人は、兼業農家であり、しかも、農業は副業で、自給を目的としたものと思われます。

そして集ったお金は、全国の民間社会福祉施設や団体に配分されますが、その数は昨年でも約一万三千もあるのですから一施設当りの配分額は僅かなものになってしまうのです。

それでは、去年の共同募金の行方を知るため、私達の身近な施設や団体への配分額を調べてみました。

	円
那母子福祉連合会	一五〇〇〇
遺族会宇和支部	二〇〇〇
伊方町社会福祉協議会	三一一五五
那社会福祉協議会	九三六二五
大島青松園	四七〇〇〇
愛媛県共	二一〇〇〇

（その外直接、間接に関係のあるものもありますが省略します）

「愛媛母子館」昭和三十年に、新居浜市へ「東雲学園」昭和三十一年に、宇和町へ「松葉学園」昭和三十二年には、松山市へ「松山信望愛の家」大洲市へ「大洲授産場」ができたわけです。

伊方町での募金計画は……

伊方町での、募金目標額は十二万五千円です。

募金の方法としては、戸別募金と興行募金の二つの方法が考えられています。とくに今年は、長雨による災、ひでりによる甘藷の大減収をまねいた凶作の年でもあるので、興行募金に重点をおいて、戸別募金でこれを補って行こうということになりました。

興行募金は、児童、生徒を対象とした各小学校の外、一般向は、十月六日に伊方小学校、七日に九町小学校で、劇映画「一風紋」外文化映画などを上映する予定です。

年賀状でも 五つの施設

共同募金は、この外、お年玉付年賀葉書の中にも含まれています。この葉書の寄附金で、県内でも五つの施設ができています。昭和二十九年に、松山市道後へ

わたしにもきみにもできるたすけあい

共同募金始まる

今年も、赤い羽根の月、十月がやってきました。

赤い羽根の共同募金は、社会のたすけあい運動として、昭和二十二年から始められ、今年で十二回目です。

この募金運動は、国民たすけあいの精神によって、おたがいの住む社会を、おたがいの力で明るく住みよいものにするため、国民のみんながこれに参加し、十円でも二十円でも金のある人は、金を出し、一日でも二日でもひまのある人は募金活動に奉仕することを建前としたものです。

伊方でふたあけ 食生活の改善で一役

動く台所 キッチン・カー

町の社会福祉協議会では、去る九月九日十日の二日間、伊方小学校と九町小学校の校庭で、栄養料理講習会を開きました。

この講習会には、郡の食生活改善推進協議会が県から払い下げを受けたキッチン・カー（栄養指導車）が、初のお目見えをしました。このキッチン・カーは、去る四日に払い下げの受けとりをし六日に試運転で三瓶に行って車の顔見せだけをし、九日伊方で始めて使用されたもので動く台所ともいわれ炊事用具はもちろん、水槽から冷蔵庫まで完備したものです。

こんどの講習会では、保健所の松岡栄養士を招いて、身近な材料で、おいしくて、栄養のある料理を講習していただきましたが、今後も、このような講習会を開くとき、このキッチン・カーが必要であれば、町の教育委員会を通じて、教育事務所へ御連絡ください。

なお、この車を使う時は、一日につき二〇〇円と、走った距離一粁につき一〇円の費用弁償及び運転士の旅費を負担しなければなりません。

私達の生活が、より豊かにうるおいのある、健全なものにするため、食生活の改善に、真剣にとりくみ、与えられた機動力、キッチン・カーも最大限に活用しましょう。

日本中しあわせになるおてつだい

簡易保険普及運動　10月1日～7日

眼を大切に
「おいおい、いつまで寝ているんだい」
「きょうはあれよ」

眼の愛護デー　10月10日

ラジオの騒音一掃運動　10月中

自衛官募集中

只今防衛庁では、陸海空一般自衛官を募集しています。昭和九年一月二日から昭和十六年一月一日までに生まれた男子であればだれでも応募できます。志願する人は、役場の総務課または、町見支所で志願票を受けとって、必要なことを書きこみ十月二十日頃までに出してください。

10月の税金は
保険税
町民税
納税は
10月末日までに

目に見えぬ敵
土壌線虫とは？

細作物に、おおきな損害を与える土壌線虫対策が、今大きな問題になっています。

「土壌線虫なんて聞いたことも無い」などと言う人でも、話を聞けば、アアあれかと手ぐち気がつく程、私たちの身近なものでしかも損害の多い割には見逃されている線虫です。

人参、大根、甘藷などが形が悪く、ひげ根がやたらに多かったりたくさんのコブがついたりするのを見かけるでしょう。また、ホーレン草、南瓜、茄子などの野菜やホーセン花などの花を抜いた時にもその根にたくさんのコブがついていることがよくあるでしょう。これが線虫による被害で、そのコブの中に、肉眼では、ほとんど見えない位の小さい線虫がいるのです。この線虫が作物の根に寄生して作物の養分を横取りして、胡瓜が一ケ月も早く枯上ってしまったり、人参等は上物が少なくなって商品価値がさがったり甘藷はひどい時には反当数十貫しかとれない、といったときがあるのです。これを"ネコブセンチユウ（根瘤線虫）"といいます。土壌線虫の中にはコブを作らないものもあります。大豆や陸稲、麦など生育の悪い株をぬいて根をよく見ると真白かなレモン型で大きさが一ミリ以下の、小さい虫の卵のようなものを見る事があります。このレモン型をしたものをシスト と呼びその中には線虫の卵が二〇〇―三〇〇個も入っています。このような線虫をシストセンチユウといいます。この他土壌線虫には作物の根に寄生して腐敗を起させる、根ぐされ線虫、根瘤の根に寄生しコブを作らない線虫、未熟な ど球根に寄生する線虫がいます。

これら線虫は、他の害虫にくらべて非常に特性的で急に殖れるということも少ないので、自分の栽培法が悪いと誤解したりあるいは、肥料不足、不良土壌いや地など片付けられてしまうことが多いのです。

原因が判然的に証明されないわゆるクセのある、土壌線虫がいるのではないか一度調べてみる必要があります。

上の図は、産業課で調べた土壌センチユウの分布図です。この図で土壌センチユウがいない地域になっていても疑問に思われる点があれば、農業改良普及員か農協の技術員に相談してください。

推進力

みなさんの投書を歓迎します。投書には、氏名、職業名、住所、部落、年令、性別を記入して下さい。氏名は匿名でも結構です。宛先は町役場内広報係。

世論調査から

農家のくらしがよくなるために

①農地の交換分合をすすめたい。私の部落では、二、三交換したところはあるがまだまだ一般には行なわれていない。

②大きな防風林を作ろう、私の部落の平地では、風が吹き下げるので、小さい杉垣では効果が少ない。

③段々畑では、農道の完備が必要だ

④麦にまさる作物はないのだろうか

（河内・中農）

農地交換分合が必要

農地の交換分合が必要だ。これは、当事者相互の理解を必要とするから先ずやれる者から実行して、その実績や効果を一般に示して、その気運をたかめるようにすること。

（川永田・A）

農協の強化が第一

新しい町づくりについては農協の強化が先づ第一と思います。ところが現在の農協についてみれば、私達の農協が、役職員の農協になっており、半商人化しているのではないでしょうか。農協が農民に信頼を得て、農協、農民共に一体となって、発展するようになれば新しい町づくりの第一歩が踏みだされると考えます。

（田之浦・一農民）

生活の改善を

生活改善は、机上の空論や口先だけの議論ではだめだ最も大切なのは、実行にうつすことだ。私達の生活を見ると、数々のムダを持ち打破すべき慣習が旧態依然として行なわれている。町なり部落なりの指導的地位にある人は、自から新生活に即した生活の改善を示してほしい。

（湊浦・B）

農業以外に現金収入を

毎日あくせく働いて、やっとつくったものを食べているが、せいいっぱい。こんな農家は私だけじゃない。でもみんなこの生活に甘んじている。伊方では、農業だけでは、人間並の生活ができない。現金収入が少しでも得られるよう農業以外になにか仕事がほしい。伊方では農業以外の何か企業は望めないのだろうか。

（湊浦・一貧農）

明るい町は みなさんの手で

暴力団を追放して明るい社会をつくろう、と県警察本部に、昭和三十一年十月「暴力団取締本部」を設けてから、だんだん暴力は減ってきていたのですが今年になってからは、少しづつではありますがふえています。一月から六月までの事件をみますと、去年の1257件に対し、今年は1331件になっているのです。

警察では暴力を根から絶やすためくりかえし、くりかえして、取締りをしていますが、これは、警察だけの力では到底できないことなのです。

街の盛り場を追われた「暴力団」や「ぐれん隊」は思いがけないところに現われています。暴力団の恐ろしさを全然感じていない人でも、いつどんなところで被害を受けるかも判りません。

暴力団を追払うのに他の暴力団の手を借りたりすることは、暴力団をなおさらはびこらせ、自分自身も、なお大きな被害を受けることになります。

街頭のあやしげな投売りや詰将棋では、数人のサクラがいて客をねらっています。そして「商品に手あかをつけた」とか「暴手を用いた」などと、いんねんをつけ、法外な金を強要したりします。

被害にかかったり、またそれを見つけたりしたら、必らず警察に届けてください。この時よく「お礼参り」のことが心配されますが、こんど法律的にも「お礼参り禁止規定」ができ、警察としては、被害届をだした人、情報を提供してくれた人などの秘密と身辺の安全も絶対に守ることになっています。

暴力の追放は、警察の手だけでもまた個人一人の手だけでもできません。警察と町民の一人一人のみんなが協力し合ってこそ始めて、暴力は追放され、町民のみんなが"ニコニコ笑ってくらせる明るい町"ができるのです。

暴力を完全に追放するために「これくらいのことは」などとおおめにみることなく、徹底的な追放へ、みなさんの全面的な協力を警察では希望しています。

今月の焦点

勤務評定を見る

連日新聞、ラジオをにぎわしている勤務評定の問題を新聞の社説からのぬきがきを示して、町民のみなさんによる、勤評に対する公正な判断を願うことにします。

「文部省にいわせは、日教組は政治的な傾向を示し教育をその支配下におこうとした断定があられという。これに対し日教組は、教育委員会の公選から任命制への切換え、教育課程の改正、道徳教育の押しつけ勤評の強行などは一連の政治的意図とみている。

教育という大切な問題がこのように政治にまきこまれることはふしぎでも絶対なければならない。――九・一六付毎日社説」

「日教組が無条件反対の線をこれだけ強く打ち出したのも、文部省が法をタテにガムシャラに勤評行政を押し進めているからで、日教組の"無条件"は現在のようなムリ押し勤評に対しての態度であることも確かあろう。――九・一六付愛媛社説」

「文部当局にも、教育委員会にも言っておきたい、言い出したことは、世の中の批評がどうあろうと、全部押しつけねばおかぬという強引なやり方は、一歩も止めて考え直してもらいたい。いま直ちに勤評を実施しなければ日本の教育がひっくりかえるというようなものではあるまい――九・一二付朝日社説」

これに対し、伊方町の阿部教育長は「勤務評定の実施は、法律できめられていることであり民間の大会社などでも実施している。それを教師だけが、勤務評定を拒否するということは、たとえ教育の特殊性ということを考慮にいれても問題がある。法治国家のもとにいるかぎり法律は守るべきであり、その法律が改正しなければならないものであれば、法の改廃に向って努力すべきであろう人事管理の上からたとえ教師といえども何らかの方法による勤務評定は必要であり、評定の方法を改善することは、今後の問題である。

とにかく九月十五日の一斉休暇闘争に、子供をまきこまなかったことは、よろこばしいことだった」と語っています。

新聞の社説から

愛の資金醸成に
御協力下さった方々

先月本紙で、お知らせしました愛の資金醸成運動に御協力くださった方々は、九月十五日現在で次のとおりです。御協力ありがとうございました。（順不同、敬称略）

住所	方名	金額
大浜	矢野宏	一〇〇〇円
中之浜	上甲喜覚	一〇〇〇円
仁田浜	道上武敏	一〇〇〇円
河内	谷内清吉	一〇〇〇円
湊浦	山下月吉	一〇〇〇円
〃	中田ユキコ	一〇〇〇円
〃	小林庸市	一〇〇〇円
小中浦	渡辺為十郎	一〇〇〇円
川永田	稲月源平	一〇〇〇円
〃	竹内シズエ	一〇〇〇円
〃	川口倉敦	一〇〇〇円
〃	渡辺豊重	一〇〇〇円
豊之浦	岳頭宇三郎	一〇〇〇円
伊方越	檜田平五郎	一〇〇〇円
亀浦	渡辺金吾	一〇〇〇円
奥	堀内重松	一〇〇〇円
向	岡村治雄	一〇〇〇円
須賀	稲田シカエ	一〇〇〇円
〃	山口要	一〇〇〇円
〃	川永田佐々木勝孝	一〇〇〇円
〃	栗田龍彦	五〇〇円
〃	福田喜吉	五〇〇円
〃	篠川豊太郎	三〇〇円
〃	高門豪光智	三〇〇円
〃	畑中角平	三〇〇円
〃	菊池芳勝	三〇〇円
〃	阿部源次郎	三〇〇円
〃	吉川時太郎	三〇〇円
〃	清水亀好	三〇〇円
〃	阿部徳喜代	三〇〇円
〃	篠沢国照	三〇〇円
〃	菊池泰光	三〇〇円
〃	大屋清隆	三〇〇円
〃	桜谷伝次郎	三〇〇円
〃	宇都宮光意	三〇〇円
〃	吉川重雄	三〇〇円
〃	阿部亀明	三〇〇円
〃	岡山敬明	三〇〇円
〃	加藤透晴	三〇〇円
〃	梶谷富雄	三〇〇円
〃	篠沢友親	二〇〇円
〃	福田章平	二〇〇円
〃	阿部義定	二〇〇円
〃	福田清右衛門	一〇〇〇円
中浦	井上鶴敏	一〇〇〇円
〃	渡辺一幸	一〇〇〇円
加周	林數	一〇〇〇円
奥	清水義久	三〇〇円
仁田浜	二宮長幸	三〇〇円

九月十五日現在の計　五三、三〇〇円

人

婚姻（八月分）

出生（八月分）

死亡（八月分）